



- 1 トップメッセージ
- 2 連結財務ハイライト
- 3 セルフメディケーション事業
- 4 医薬事業
- 5 主な新製品
- 6 株式の状況・会社概要

株主の皆様へ

中間報告書

(2017年4月1日～2017年9月30日)

あなたの、健康のそばに。

大正製薬グループは、
「健康と美を願う生活者に納得していただける
優れた医薬品・健康関連商品、情報及びサービスを、
社会から支持される方法で創造・提供することにより、
社会へ貢献する」を使命として、事業を展開しています。

大正製薬ホールディングス株式会社 代表取締役社長 上原 明



株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

大正製薬グループでは、OTC医薬品を中心としたセルフメディケーション事業と、医療用医薬品を手掛ける医薬事業をバランスよく成長させながら収益基盤を強固にし、企業価値の最大化を目指しています。

セルフメディケーション事業部門は、「健康で美しく老いたい」という生活者のニーズに対応すべく、健康意識の高まりに対応した新領域を開拓し、新たな需要の創造に努めております。また、生活者から支持される強いブランドを作るため、生活者との接点拡大と共感獲得を目指し、通信販売など直接のコミュニケーションにも注力しています。海外では、アジアを中心にOTC医薬品の事業開発も積極的に行っております。

医薬事業部門でも、きめ細かい情報提供活動による新

薬の売上最大化、開発化合物の早期承認取得を目指すとともに、導入によるパイプライン強化を進めています。さらに、外部研究機関との連携を強化し、継続的なオリジナル開発化合物の創出に努めております。

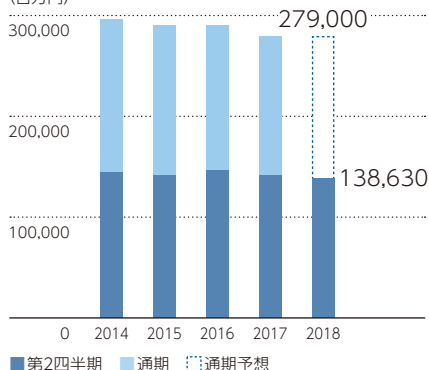
尚、配当につきましては、従来の方針に従い、今回の中間配当は1株当たり50円とさせていただき、年間では110円を予定しています。

医薬品業界を取り巻く事業環境は厳しさを増しておりますが、環境の変化に機敏に対応するため、会社の理念を念頭に置き、コーポレート・ガバナンスのさらなる強化と徹底した品質管理に努め、グループ全体の総合力向上を図ってまいります。

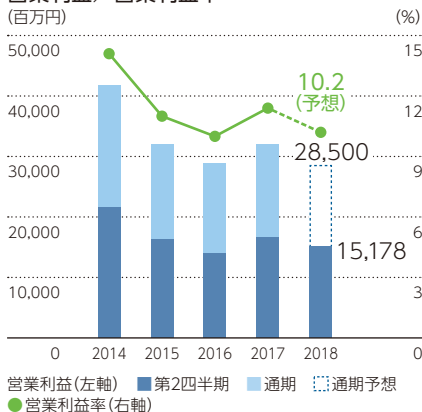
株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結財務ハイライト Consolidated Business Results

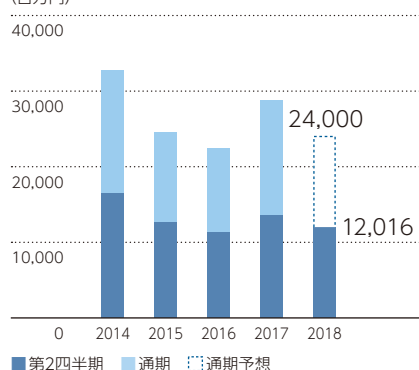
売上高
(百万円)



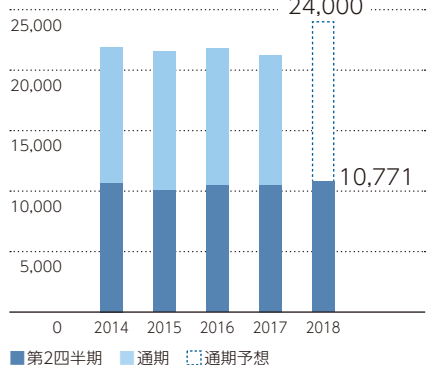
営業利益／営業利益率
(百万円)



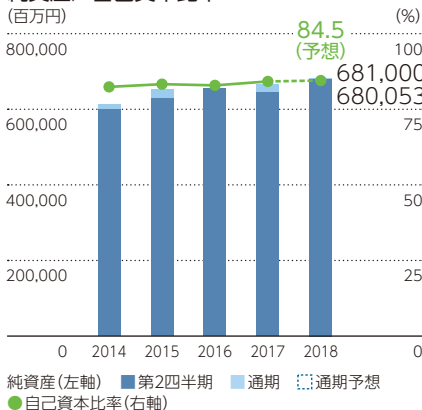
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益
(百万円)



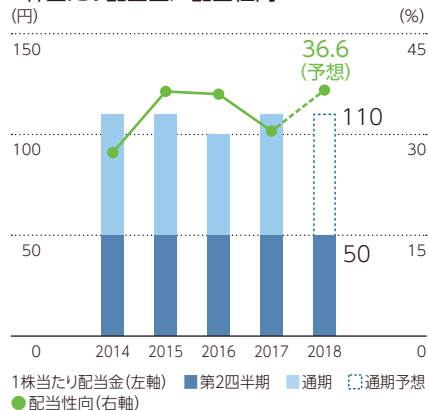
研究開発費
(百万円)



純資産／自己資本比率
(百万円)



1株当たり配当金／配当性向
(円)



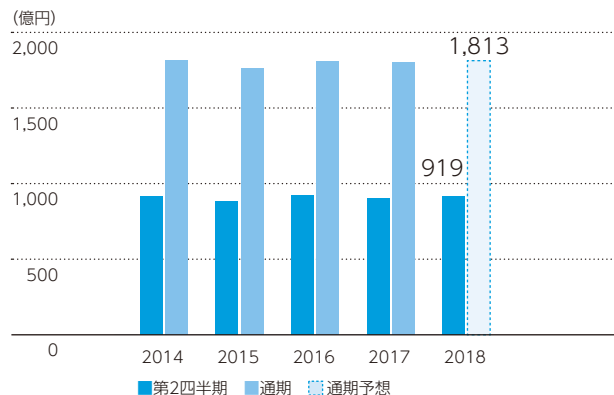
※各グラフの横軸は、3月31日終了の事業年度を示しています。

- 2017年4月1日～9月30日の連結売上高は1,386億円(前年同期比1.7%減)となりました。
- 営業利益は152億円(同8.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は120億円(同11.0%減)となりました。
- 研究開発費は同3億円増となりました。

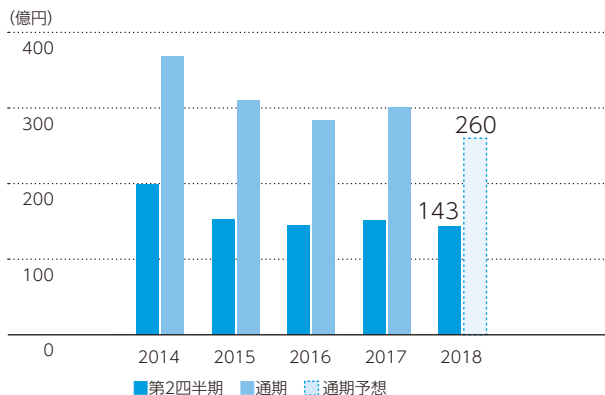
当社ホームページ上の「株主・投資家の皆さまへ」もあわせてご覧ください。

セルフメディケーション事業 Self-Medication Operation Group

売上高



営業利益



※各グラフの横軸は、3月31日終了の事業年度を示しています。

- 当第2四半期累計期間の売上高は、919億円(前年同期比1.6%増)となりました。
- 国内の「リポビタミンシリーズ」は市場のダウントレンドおよび夏場の天候不順の影響などにより310億円(同6.1%減)、「パブロンシリーズ」は総合感冒薬市場と鼻炎治療剤市場の拡大および2017年9月に発売した新製品の寄与があり114億円(同11.1%増)、「リアップシリーズ」は2015年の製品リニューアルで獲得したユーザーの維持に注力し78億円(同1.5%減)となりました。
- 海外は東南アジアを中心に注力しており、ドリンク剤は主要国でのシェア拡大により56億円(同13.8%増)、OTC医薬品も順調に拡大しており95億円(同12.7%増)となりました。

鷺のマークの 「ビオフェルミンシリーズ」新登場

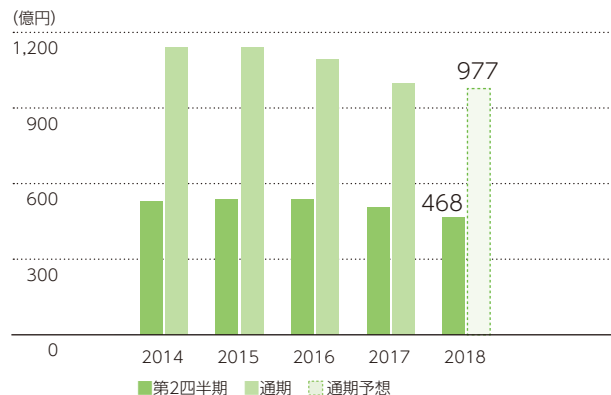


2017年10月1日より、整腸領域におけるNo.1ブランドである「ビオフェルミンシリーズ」のパッケージを、鷺のマーク入りのデザインに一新いたしました。

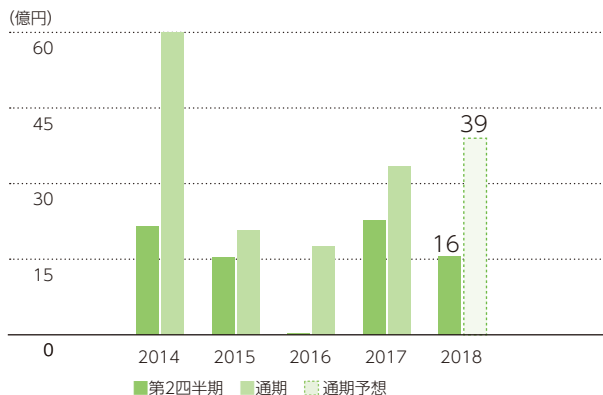
「ビオフェルミンシリーズ」は今後、大正製薬が直接お取引先に販売することにより、ビオフェルミンブランドの地位をより強固なものにするるとともに、今後、製品ラインアップの強化等、ブランド力を生かした取り組みによりブランド価値の最大化を図ってまいります。

医薬事業 Prescription Pharmaceutical Operation Group

売上高



営業利益



※各グラフの横軸は、3月31日終了の事業年度を示しています。

- 当第2四半期累計期間の売上高は、468億円(前年同期比7.5%減)となりました。
- 骨粗鬆症治療剤「エディロール」は治療のベース薬として浸透しており124億円(同9.7%増)、同じく骨粗鬆症治療剤の「ボンビバ」は市場シェアを拡大させ32億円(同2.9%増)、2型糖尿病治療剤「ルセフィ」は市場の拡大により21億円(同43.0%増)、2016年に発売した経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」は16億円(同200.3%増)と、それぞれ好調に伸長しました。
- 注射用抗生物質製剤の「ゾシン」は53億円(同35.8%減)、経口抗生物質製剤の「クラリス」は34億円(同15.1%減)、末梢循環改善剤「パルクス」は25億円(同10.1%減)と、後発医薬品の影響などによって前年同期を下回りました。

開発パイプライン

(2017年10月30日現在)

	開発コード	剤形	予定適応症	開発形態	特徴	備考
国内	フェーズ2	TS-091	経口	中枢性過眠症	自社	
		TS-152	注射	関節リウマチ	自社	抗TNFα抗体 一般名: Ozoralizumab (Ablynx社から導入)
		TS-141	経口	小児 注意欠如・多動性障害 (AD/HD)	自社	
		TS-133	外用	脱毛症	自社	
		TS-142	経口	不眠症	自社	
海外	フェーズ2	TS-121	経口	うつ病	自社	
	フェーズ1	TS-071	経口	2型糖尿病	自社	SGLT2阻害作用 一般名: ルセオグリフロジン水和物 国内: 2014年5月発売(製品名: 「ルセフィ」)
		TS-091	経口	中枢性過眠症	自社	
		TS-134	経口	統合失調症	自社	

主な新製品 New Products



発売90周年 かぜ薬のトータルブランド「パブロン」から、
「パブロンエースPro」「パブロンメディカル」シリーズ新発売

パブロンかぜ薬のさらなる進化！

「パブロンエースPro」



(錠剤)

(微粒)

＜セルフメディケーション税制対象品＞
指定第2類医薬品

気道粘膜バリアを清浄化するアンブロキシール塩酸塩と、気道粘膜バリアを修復するL-カルボシステインに加え、熱・のどの痛みのもとをブロックする解熱鎮痛成分イブプロフェンを最大量600mg*配合したかぜ薬です。
*かぜ薬のパブロンシリーズ1日量として

気になる症状に合わせて選べるかぜ薬

「パブロンメディカル」シリーズ



＜セルフメディケーション税制対象品＞
指定第2類医薬品

「パブロンメディカルT」「パブロンメディカルC」「パブロンメディカルN」は、のど・せき・はなの気になる症状に合わせて選べるSelect処方のかぜ薬です。



指定医薬部外品

糖類ゼロで効き目しっかり！

「リポビタンZERO」

糖類ゼロで1本あたり6kcalと低カロリー指定医薬部外品100mLドリンク剤。甘さ控えめのスッキリとした風味。ドリンク剤ユーザーの「栄養補給はしたいけれど、糖類やカロリーが気になる」といったニーズに応え発売しました。

[販売名]リポビタンFN

株式の状況・会社概要

Investor Information / Corporate Data

(2017年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	普通株式 360,000,000株
発行済株式総数	普通株式 90,139,653株
単元株式数	100株
株主数	26,408名

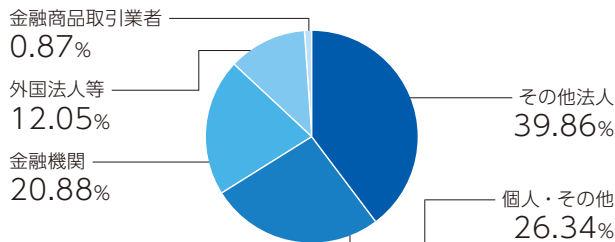
大株主

株主名	株数(千株)	持株比率
公益財団法人上原記念生命科学財団	15,000	18.76%
上原 昭二	7,874	9.85%
公益財団法人上原美術館	3,900	4.88%
株式会社三井住友銀行	3,000	3.75%
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,000	3.75%
上原 明	2,143	2.68%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,749	2.19%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,715	2.15%
鹿島建設株式会社	1,650	2.06%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・住友化学株式会社退職給付信託口)	1,530	1.91%

※1 株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

※2 持株比率は自己株式10,168千株を除いて算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。

所有者別株式分布状況



※ 持株比率は自己株式10,168千株を除いて算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。

会社概要

商号	大正製薬ホールディングス株式会社
主な事業内容	一般用医薬品、食品、雑貨等の製造、販売及び医療用医薬品の製造、販売等を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務を担う持株会社
会社設立	2011年(平成23年)10月
資本金	300億円
本店所在地	〒170-8655 東京都豊島区高田三丁目24番1号

役員一覧

代表取締役社長	上原 明
取締役副社長	上原 茂
取締役相談役	大平 明
取締役	上原 健
取締役	藤田 憲一
取締役	亀尾 一弥
取締役	渡邊 哲
取締役(社外)	森川 敏雄
取締役(社外)	植村 裕之
監査役	佐々木 賢明
監査役	小林 久二
監査役(社外)	青井 忠二郎
監査役(社外)	佐藤 順哉

株主メモ Shareholders Information

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
期末配当の基準日	毎年3月31日
中間配当の基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (0120)-232-711 (フリーダイヤル)
公告掲載URL	http://www.taisho-holdings.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、決算発表の内容、新製品の発売のお知らせや新薬の開発状況など、最新情報を随時更新しています。



お知らせ

1. ご注意

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受取(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

大正製薬ホールディングス株式会社

〒170-8655 東京都豊島区高田三丁目24番1号
TEL : 03-3985-2020
<http://www.taisho-holdings.co.jp/>

